

# 令和 4(2022)年度 事業報告

令和 4年 4月 1日から

令和 5年 3月 31日まで

公益財団法人 日本尊厳死協会

東京都文京区本郷二丁目 27 番 8 号

## 日本尊厳死協会の活動目的

日本尊厳死協会は、「人生の最終段階において、自己決定権に基づいた医療選択の権利が保障され、尊厳が損なわれることなく生を全うする社会の実現をめざす。」ことを目的とした活動を推進しています。

## I.事業の総括

令和4(2022)年度事業計画に則り、実施した内容を以下に報告します。

### 1.普及啓発事業

- (1) 人生の最後段階をどう過ごすのか、本人の希望を周囲が正しく受け入れられるよう、「リビング・ウイル」の必要性を説く活動は、新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針変更に伴う旅行や外食の拡大・回復と連動して、講演会やセミナー等への集合参加が戻ってまいりました。さらに、コロナ禍でのオンラインを活用した普及啓発活動は、ほぼ全組織が開催できるようになり、令和4(2022)年度年間では、講演会、セミナー及び出前講座の総数は、115回で参加者数が5,592名(前年度は開催数75回、参加者数2,041名)となりました。
- (2) メディア普及活動として、TBSラジオで冠番組「日本尊厳死協会プレゼンツ【My LIFE! My CHOICE!!】」をオンエアしました。期間は10月～12月で著名人とのインタビュー、協会役員による質問・回答コーナーにより尊厳死の普及啓発、協会の知名度もアップしてまいりました。引き続き、YouTubeでのアーカイブ利用により効率的な活用していきます。
- (3) 看取り体験談に基づく人生の最終段階における意思決定支援に役立つサイト「小さな灯台プロジェクト」は、ご遺族からのアンケートから2019年と2021年の2年分を取り込みしました。前年度の2020年と併せ、3年分の情報となって4つのコンテンツに分けてホームページにて公開しています。
- (4) 受容協力医師数拡大は、3,000名を目標としたが、年度末登録数は2,021名で前年度に比べて36名減で未達となりました。

### 2.登録管理事業

- (1) 協会リビング・ウイルを令和4(2022)年11月1日から改訂しました。今回の改訂は、将来の尊厳死法制化に備え、法が制定する本人意思確認方法との整合性を図るとともに、今の時代に沿った有効性の高いものにしました。会員への告知は、会報No186号(2022年7月)、同No187号(2022年10月)、同No188号(2023年1月)で告知しました。また、11月に開催しました本部主催の「第11回日本リビングウイル研究会」では、「新しいリビング・ウイルー自分らしい最期と看取りー」と題し、協会理事がリビング・ウイルについて解説しました。
- (2) 年度末登録会員数は87,504名で、前年度に比べ6,897名減少しました。新規入会者数は、1,897名(前年度は2,159名)で262名減少、一方の退会者数は、8,744名(前年度は8,403名)で341名増加となり、会員数減少には歯止めがかけられず大変厳しい状況が続いています。

### 3. 調査研究及び提言事業

- (1) 本部と東北・東海北陸・四国及び九州の4支部で、「日本リビングウイル研究会」を開催しました。
- (2) 協会と東京大学医学部老年病科との共同研究として「人生の最終段階における臨床経過ならびに死の徴候に関する研究」は、令和4(2022)年度も前年度と同様に全国のリビング・ウイル受容協力医師を対象にアンケートを実施し、累計で440名の回答を得ました。アンケート内容の解析中であり、令和5(2023)年度中に臨終の徴候や臨床経過の体系化に関する報告、英文論文化を行う予定です。
- (3) 国会議事録から「尊厳死について」の議論が衆参両院でいかになされてきたかの情報として2000年代をホームページに掲載しました。

### 4. 管理部門

- (1) 令和4(2022)年6月11日開催の第14回定時評議員会において、定款第3条(目的)、第4条(事業)の改定が承認されました。(改定は、太字・下線部分)  
第3条(目的)  
この法人は、人生の最終段階において、自己決定権に基づいた医療選択の権利が保障され、尊厳が損なわれることなく生を全うする社会の実現をめざすことを目的とする。  
第4条(事業)  
この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
  - (1) リビング・ウイルの普及啓発事業
  - (2) リビング・ウイルの登録管理事業
  - (3) 尊厳死の調査研究及び提言事業
  - (4) その他この法人の目的達成に必要な諸事業

2 前項の事業については、日本全国において行うものとする。
- (2) 令和2(2021)年11月28日の理事会での「ウイズコロナ時代の法人組織の見直し」の決議による支部固定費の見直しについては、関西支部事務所が、職員の退職に併せ令和5(2023)年6月末で閉鎖すること、東海北陸支部は、法律事務所との事務業務委託金額が令和5(2023)年4月から減額することが決定しました。
- (3) 財務面では、令和4(2022)年度経常増減額予算では1,818万円の赤字と策定しましたが、実績値は、収益面では受取会費と寄付減、費用面ではメディア活動と支部や県組織での活動増等により、経常増減額は5,439万円の赤字となりました。

## II.事業活動

### 1. 普及啓発事業

市民への「リビング・ウイル」の普及啓発と適正な理解を深める事業

#### (1) 普及啓発活動

##### ① 普及活動

支部・県組織が開催するリビング・ウイルの普及啓発と正しい理解を深める活動は、計画では講演会 30 回、セミナー100 回及び出前講座 40 回、特にオンライン開催を積極的に実施するとしました。実績値は、講演会が 42 回に伸び、セミナー50 回及び出前講座 23 回でしたが、年度では、回数 115 回、参加者数 5,592 名(前年 75 回、2,041 名)と倍増しました。支部別、項目別実績は、オンラインでの講演会開催等や動画配信での活動も含め、下表のとおりです。

<令和 4(2022)年度累計開催・累計参加者一覧>

(単位：回、名)

項目	講演会		セミナー等		出前講座		4 年度計		3 年度計		前年 参加差異
	回数	参加	回数	参加	回数	参加	回数	参加	回数	参加	
北海道	5	877	6	92			11	969	4	245	724
東北	2	125	4	45			6	170	10	114	56
関東甲信越	7	968	27	192	9	321	43	1,481	31	479	1,002
東海北陸	4	142	5	46			9	188	8	84	104
関西	1	273	7	10	6	266	14	549	5	481	68
中国地方	1	186	1	20			2	206			206
四国	4	215			2	64	5	279	5	142	137
九州	18	1,575			6	175	24	1,750	12	496	1,254
計	42	4,361	50	405	23	826	115	5,592	75	2,041	3,551

<講演会開催方式、動画公開>

支部	開催	開催方式	講演会名	動画公開
北海道	4 月	ウェビナー	公開講演会	○
	4 月	対面	公開講演会	
	8 月	ハイブリッド	高齢者の終末期医療を考える	
	10 月	対面	映画上映会	
	1 月	ウェビナー	オンライン講演会	
東北	6 月	対面	公開講演会	○
	10 月	対面	秋田公開講演会	○

関東甲信越	4月	対面	公開講演会 in 成城	○
	5月	対面	公開講演会 in 橋本	○
	10月	対面	板橋公開講演会	
	11月	対面	川口市公開講演会	
	1月	対面	川口市公開講演会	
	2月	対面	高崎市公開講演会	
東海北陸	10月	対面	リビングウイル懇話会 in 富山	○
	11月	対面	リビングウイル懇話会 in 三重	○
	12月	対面	リビングウイル懇話会 in 岐阜	○
	2月	対面	リビングウイル懇話会 in 熱海	○
関西	10月	ウェビナー	オンライン市民講演会	○
中国地方	11月	対面	広島市公開講演会	
四国・香川 四国・愛媛	9月	ハイブリッド	リビングウイル香川懇談会	
	10月	ハイブリッド	愛媛大学医学部附属病院緩和ケアセンター講演会	
	2月	対面	「人生の正しいお迎えと準備」を考える講演会 ～もしもの時のために「アドバンス・ケア・プランニング」を考える～	
九州・福岡  九州・長崎 九州・佐賀 九州・大分 九州・熊本 九州・宮崎	7月	ハイブリッド	久留米大学内講義 臨床みまもりし	
	7月	対面	公開講演会(遠賀中間地域多職種研修会)	
	1月	ハイブリッド	オレ流在宅医療ザ・スライドショー	
	10月	対面	市民公開講座	
	2月	ウェビナー	第21回市民公開講演会	○
	10月	ハイブリッド	くまもと市民公開講座	
	4月	ウェビナー	オンライン講演会	
	5月	ウェビナー	オンライン講演会	
	6月	ウェビナー	オンライン講演会	
	7月	ウェビナー	オンライン講演会	
	8月	ウェビナー	オンライン講演会	
	9月	ウェビナー	オンライン講演会	
	10月	ウェビナー	オンライン講演会	
	11月	ウェビナー	オンライン講演会	○
	12月	ウェビナー	オンライン講演会	○
	1月	ハイブリッド	オンライン講演会	
	2月	ハイブリッド	オンライン講演会	○
	3月	ハイブリッド	オンライン講演会	

<上述に含まれない動画等>

組織	イベント名
北海道	宮本支部長制作 ・連載動画(4回シリーズ) 人生最後の医療を考える 第3回 LW と ACP の違い 第4回 尊厳死と安楽死の違い ・死の権利協会世界連合「トロント カナダ」大会の講演動画
東北	リレーエッセイ 支部理事が制作 ⑥ 石澤 誠支部理事 「在宅医療」にも積極的に取り組む ⑦ 阿見 孝雄支部長 東北支部事務所、慎ましくも、仙台市の中心部にあることに ⑧ 加藤 佳子支部顧問 「人生会議」とは? 「リビングウイルノート」の利用を勧めましょう ⑨ 伊藤 道哉支部理事 念いに見える化する ⑩ 佐藤富美子支部理事 「死」を身近に感じる ⑪ 鈴木 秀和支部理事 最後は感謝の気持ちを伝えたい。
関西	リビングウイルなんでも相談会 <テーマ> 第1回 リビングウイルとは 第2回 リビングウイル受容協力医師の役割とは 第3回 リビングウイルノートって? 第4回 尊厳死とは? 第5回 88歳、私の尊厳死 第6回 人生会議と尊厳死 第7回 小さな灯台プロジェクトから ～看取りのエピソード① 第8回 小さな灯台プロジェクトから ～看取りのエピソード②
四国・徳島	徳島県阿南市 在宅医療・介護連携事業 第5回市民公開講座 演題 自分らしく行ききる ～いのちの終わりの向き合いかた～

② 本部では、メディアを利用した啓発活動を積極的に導入実施した。

ア)放送枠：TBS ラジオ 「家族で考えよう！リビング・ウイル」 season2

- ・出演：岩尾理事長(4月7日の5回目)
- ・進行：安東弘樹氏(フリーアナウンサー)
- ・内容：前回放送に対する質問への回答等
- ・放送時間：TBS ラジオ・・・毎週木曜日「アシタノカレッジ」内、23:30～10分程度
- ・放送日程：2022年3月10日、17日、24日、31日、4月7日の計5回

イ)放送枠 : TBS ラジオ 日本尊厳死協会プレゼンツ 【My LIFE! My CHOICE!!】

- ・出演 : 長尾副理事長、北村専務理事
- ・進行 : 安東弘樹氏 (フリーアナウンサー)
- ・放送時間 : TBS ラジオ・・毎週日曜日 午前 5:00 ~ 5:30  
: ラジオ大阪・・毎週土曜日 午前 11:15 ~ 11:45
- ・放送期間 2022 年 10 月 1 日週~2022 年 12 月 31 日 (全 13 回)

話順	ラジオ大阪放送	TBS ラジオ	ゲスト(敬称略)	質問回答者
1	10月1日(土)	10月2日(日)	奥田 瑛二	長尾副理事長
2	10月8日(土)	10月9日(日)	蟹瀬 誠一	北村専務理事
3	10月15日(土)	10月16日(日)	東海林 のり子	長尾副理事長
4	10月22日(土)	10月23日(日)	仁科 亜希子	北村専務理事
5	10月29日(土)	10月30日(日)	高橋 伴明	長尾副理事長
6	11月5日(土)	11月6日(日)	吉永 みち子	北村専務理事
7	11月12日(土)	11月13日(日)	高橋 恵子	長尾副理事長
8	11月19日(土)	11月20日(日)	柴田 理恵	長尾副理事長
9	11月26日(土)	11月27日(日)	松村 邦洋	北村専務理事
10	12月3日(土)	12月4日(日)	蝶野 正洋	長尾副理事長
11	12月10日(土)	12月11日(日)	山下 真司	長尾副理事長
12	12月17日(土)	12月18日(日)	松崎 しげる	北村専務理事
13	12月31日(土)	12月25日(日)	林家 正蔵	長尾副理事長

ウ) TBS ラジオでの CM

- ・放送時間 TBS ラジオ 生島ヒロシのおはよう一直線内で放送 全国 28 局
- ・放送期間 2023 年 1 月~2023 年 3 月  
毎月/隔週、月~金曜日の同時刻に全国一斉放送  
1ヶ月の放送回数は 10 回

③ 大学・大学院の医学部、歯学部、看護学部に講義用資料を提供しました。

大学名	講義名	資料提供数
東北医科薬科大学医学部	医学法学	100
東北大学医学部	患者医師関係	135
東北大学歯学部	医の倫理・社会の倫理	40
宮城大学看護学部	医療看護学	100
宮城大学大学院看護学専攻	看護倫理	8



- ④ 月次で、支部や県組織の普及活動情報は、支部長や支部理事・県組織役員等へメールにて連携され、新たな普及啓発先の開拓や手法の生み出し等に反映しています。なお、毎号の会報には、「リビングウイユ「出前講座」はいかがですか」の広報を掲載しています。

※別添資料・・・令和4(2022)年度支部事業報告

## (2) 受容協力医師

- ① 受容協力医師数は、計画では「小さな灯台プロジェクト事業」での1,000名増の3,000名体制を目標としました。会報での「LW受容協力医師をご推薦ください」や本部での「ご遺族アンケート」によるご遺族からのご紹介等により、医師への登録要請を行いました。コロナ禍で廃業した医師、転勤された医師も多く、実在チェックをしたところ、2,021名と前年度に比べ36名減となりました。
- ② また、毎号の会報では「LW受容協力医師をご推薦ください」と会員の皆様へかかりつけ医のご紹介をお願いしています。

<受容協力医師登録数>

(単位：名)

支部	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	前年差異
北海道	77	77	80	80	82	79	▲3
東北	57	58	57	65	59	65	6
関東甲信越	615	648	647	651	689	683	▲6
東海北陸	161	164	165	167	177	181	4
関西	143	145	144	149	149	152	3
中国地方	101	204	250	249	249	241	▲8
四国	382	376	371	364	360	333	▲27
九州	245	255	274	287	292	287	▲5
合計	1,781	1,927	1,988	2,012	2,057	2,021	▲36

## (3) 会報

会報は、年4回の発行を継続して、ホームページでも公開しています。今年度は、コロナ禍や地域医療で奮闘している医師を紹介する「LW受容協力医師制度の展望 現地ルポ」を7月号から再開しました。

掲載月	会報号	会報『Living Will』の主な記事
令和4年 4月号	No185	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第10回日本リビングウイユ研究会(オンライン)報告 テーマ：レジリエンス=パンデミックから立ち直る力</li> <li>・【特別対談】尊厳死法制化の展望 まさに「死の迎え方の選択」。立法は必要 対談 岩尾総一郎理事長、友納理緒理事</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年「ご遺族アンケート」結果</li> <li>・LWのひろば</li> <li>・支部活動・報告</li> <li>・電話・メール医療相談から⑩ ー延命措置医療行為についての用語説明</li> </ul>
令和4年 7月号	No186	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビュー 小池真理子氏（作家） 自分の意思で幕を下ろすーそれは最後の自由なのではないか</li> <li>・22年度事業計画・予算決まる</li> <li>・リビング・ウイル(LW)を見直します ー今秋、新しい時代に対応した改訂版に</li> <li>・LW受容協力医師制度の展望 ルポ ー貫して在宅資料を推進し、1000人以上の最期を看取ってきた千場純医師の継続的な挑戦</li> <li>・LWのひろば</li> <li>・支部活動・報告</li> <li>・2021年度「電話医療相談」結果まとまる</li> </ul>
令和4年 10月号	No187	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リビング・ウイルが、こう変わります。 改訂のポイントと経緯 岩尾總一郎理事長</li> <li>・これからの時代に即応した新リビング・ウイルを詳しく解説</li> <li>・LWのひろば</li> <li>・支部活動・報告</li> <li>・人生の最終段階における医療選択のための意思決定支援サイト 「小さな灯台プロジェクト」ガイド</li> <li>・第11回日本リビングウイル研究会 テーマ 新しいリビング・ウイル ー自分らしい最期と看取り</li> <li>・電話・メール医療相談から⑪ 家族が判断を求められ苦悩</li> </ul>
令和5年 1月号	No188	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年頭所感 岩尾總一郎理事長 改訂リビング・ウイルを掲げラジオやSNSなども活用した普及啓発活動を加速</li> <li>・第11回リビングウイル研究会(会場とオンライン) 新しいリビング・ウイル ー自分らしい最期と看取り</li> <li>・人生の最終段階における医療選択のための意思決定支援サイト 「小さな灯台プロジェクト」ガイド</li> <li>・「改訂リビング・ウイル」についてのQ&amp;A</li> <li>・LW受容協力医師制度の展望 ルポ 緩和ケアひと筋に歩み、3500人も最期を看取ってきた関</li> </ul>

		本雅子医師が今、乗り越える「まさか」 ・LWのひろば ・支部活動・報告 ・電話・メール医療相談から⑫ 痛くて痛くて、死んだほうがまし！
--	--	--

#### (4) メルマガ通信

会報定期便配信は、新規会員が増えている一方で、既存会員の退会も多く登録数は横ばいで推移しています。また、本部から月次で、メルマガ会員宛にオンライン講演会・オンラインセミナー等の開催情報を発信していますが、こちらは好評で参加者増に寄与しています。

<メルマガ発信数>

(単位：件、%)

発信日	配信登録件数	成功数	失敗数	成功率
04年6月(186号)	6,821	6,787	34	99.5
04年9月(187号)	6,833	6,823	10	99.9
04年12月(188号)	6,840	6,823	17	99.8
05年3月(189号)	6,816	6,800	16	99.8

#### (5) ホームページ

##### ① TBS ラジオ 日本尊厳死協会プレゼント【My LIFE! My CHOICE!!】

令和4(2022)年10月から開始されたラジオ番組【My LIFE! My CHOICE!!】の情報は、トップページから視聴できるようにしました。

##### ② 支部や県組織の講演会やセミナー開催参加

トップページからイベントへの参加申込みができるようにしました。

##### ③ 小さな灯台プロジェクト

人生の最終段階における意思決定支援に役立つサイト「小さな灯台プロジェクト」は、ご遺族からのアンケートから2019年からの3年分にわたる情報を取込みして情報の充実を図りました。4つのコンテンツに分けてホームページにて公開しています。

	コンテンツ	補足	分類
1	看取りのエピソード	看取り体験記	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親の看取り</li> <li>・配偶者の看取り</li> <li>・看取る医療者への家族の思い</li> <li>・義父母・祖父母・縁者の看取り</li> <li>・リビング・ウィルの提示なし</li> <li>・後悔している看取り</li> </ul>

			・看取った家族のその後の気持ち
2	小さな灯台に寄せて	応援メッセージ	
3	情報BOX	看取りに関する知識	
4	お知らせ	活動情報	お知らせ・ニュース等

#### ④婦人公論に掲載決定

中央公論新社の雑誌「婦人公論」に令和5(2023)年5月号(4月15日発売)から1年間、協会と「小さな灯台プロジェクト」の記事が毎月掲載することが決定しました。第1回は「人生の最期をどう迎えるか。『リビング・ウイル』の意義を知る」です。併せて、入会推進の記事も掲載しています。

#### (6) 出版事業

- ① 書籍販売収益は、「リビングウイルノート」(第3版、改訂版)の販売が引き続き好調により収益的に貢献しました。
- ② 「リビング・ウイルガイド」は、単価200円で販売していましたが、新規登録会員向けの同封資料が大半を占めていたこともあり、普及啓発の配布資料として無料に変更しました。
- ③ 「新・私が決める尊厳死」は、2013年3月第1刷から始まり、第6刷まで来ましたが発刊してから10年を経過し、当時執筆に関わった筆者で亡くなった方もあり、改訂は断念して絶版としました。

#### <書籍販売リスト>

タイトル	販売部数	金額(円)
リビングウイルノート	956	1,126,854
DVD -いのちの遺言状-	9	9,900
あなたの痛み	8	8,200
バッジ・ペンダント	14	7,000
新・私が決める尊厳死	5	5,500
計	992	1,157,454

#### (7) 電話、メール医療相談

- ① 看護師が市民からの専門的な医療相談からリビングウイルに関わる多様な迷い悩みをお聴きし、共に考え、助言し支援する活動を行っている。令和4(2022)年度の実件数は704件、相談件数1,868件(令和3年度 実件数502件、相談件数1,159件)で、会報No190号(令和5年7月)に掲載します。
- ② また、会報各号に掲載した電話・メール医療相談内容から抜粋した質問・対応は、下表の通りです。

<医療相談の内容>

(単位:件、%)

順位	相談(大分類)	令和4年度		令和3年度	
		件数	比率	件数	比率
1	尊厳死医療相談	852	44	638	55
2	一般医療に関すること	598	32	214	19
3	メンタル相談	352	19	213	18
4	その他	103	5	93	8
	計	1,868	100	1,159	100

<会報掲載の内容・・・電話・メール医療相談から>

会報発行月	番号	ケース
令和4年4月発行No185号	10	延命措置医療行為についての用語説明
令和4年10月発行No186号	11	家族が判断を求められ苦悩
令和5年1月発行No187号	12	痛くて痛くて、死んだほうがまし!

## 2. 登録管理事業

会員自らの終末期意思を書面で表明した「リビング・ウィル（終末期医療における事前指示）」の登録と管理を行う事業

### (1) 会員証と協会リビング・ウィル－人生の最終段階における事前指示書－等の改訂

「リビング・ウィル－人生の最終段階における事前指示書－」を令和4(2022)年11月1日から改訂しました。今回の改訂は、将来の尊厳死法制化に備え、法が制定する本人意思確認方法との整合性を図るとともに、今の時代に沿った有効性の高いものにしました。会報No186号(2022年7月)では事前告知、同No187号(2022年10月)では全容、同No188号(2023年1月)では質問の多かった事項で告知しました。また、11月に開催しました本部主催の「第11回日本リビングウィル研究会」では、「新しいリビング・ウィル－自分らしい最期と看取り－」と題し、協会理事がリビング・ウィルについて解説しました。さらに、ホームページのトップページにも「協会のリビング・ウィル」が変わりましたと紹介しています。

### (2) 会員登録情報

令和4(2022)年度は、新入会が5,000名と計画したが、実績値は1,847名(前年度2,159名)、退会等が8,744名(前年8,403名)で会員数が87,504名となり、対前年比で6,897名(前年6,244名)と大きく減少しました。会報毎号に、入会勧誘のチラシ「お力をお貸しください!」を掲載して会員に入会希望者の情報をお願いしています。

<会員種別の年度別推移>

(単位：名)

項目	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	前年差異
正会員	44,150	47,237	47,437	46,550	44,902	▲1,648
夫婦会員	30,100	27,940	25,676	23,544	21,418	▲2,126
終身会員	4,566	4,646	4,694	4,723	4,727	4
減額会員	30,339	26,385	22,838	19,584	16,457	▲3,127
合計	109,155	106,208	100,645	94,401	87,504	▲6,897

<支部別会員数推移>

(単位：名)

項目	3年度	新入会	退会					4年度	対前年
			死亡	退会	3年未納	調整	退会計		
北海道	4,689	77	110	122	187	▲4	423	4,343	▲346
東北	3,046	65	52	65	145	1	291	2,850	▲196
関東甲信越	52,984	973	1,599	1,250	1,998	17	4,830	49,127	▲3,857
東海北陸	8,732	157	207	216	408	3	828	8,061	▲671
関西	13,812	340	361	353	626	3	1,337	12,815	▲997
中国地方	2,779	51	76	68	114	▲10	268	2,562	▲217
四国	1,730	53	46	44	87	0	172	1,611	▲119
九州	6,629	131	179	146	297	11	625	6,135	▲494
計	94,401	1,847	2,630	2,085	3,862	21	8,744	87,504	▲6,897

※3年度実績 100,645 2,159 2,582 2,085 3,746 ▲10 8,403 94,401 ▲6,244

※調整とは、会員の引越、退会取消等による誤差

<新規入会者年齢別構成>

(単位：名)

年齢	3年度		4年度	
	入会者数	構成比(%)	入会者数	構成比(%)
10代	0	0.0	0	0.0
20代	11	0.5	11	0.6
30代	23	1.1	28	1.5
40代	73	3.4	89	4.8
50代	262	12.1	224	12.1
60代	419	19.4	354	19.2
70代	744	34.5	626	33.9
80代	561	26.0	460	24.9
90代	66	3.1	54	2.9
100代	0	0.0	1	0.1
総計	2,159	100.0	1,847	100.0

<5年毎の新規入会者の平均年齢>

(単位：歳)

入会年度	男性会員	女性会員	平均年齢
1976年～1980年	57.9	55.8	56.9
1981年～1985年	63.9	61.4	62.5
1986年～1990年	64.6	63.2	63.6
1991年～1995年	64.1	63.2	63.5
1996年～2000年	66.7	65.9	66.1
2001年～2005年	68.9	68.4	68.6
2006年～2010年	70.3	69.8	70.0
2011年～2015年	72.1	71.6	71.8
2016年～2020年	72.2	71.4	71.7
2021年～2022年	71.7	70.7	71.1

(3) 会報等新規返戻者の住所解明報告

- ① 会費3年未納による退会（移転先住所不明、会費3年未納による退会）が多くなり、初期段階からの解明作業を継続実施しています。その結果は、下表のとおりです。
- ② 毎号の会報に、「住所を変更された場合はお知らせください」の記事を掲載し、会員への呼びかけをしています。

<新規返戻者の住所解明結果>

(単位：件)

年月	解明				解明不可					計	解明率 (%)
	解明済	死亡	退会	解明計	コールのみ	電話不使用	電話登録無	非居住	未解明計		
4月号	54	9	10	73	44	149	11	25	229	302	24.2
7月号	46	6	8	60	40	141	13	41	235	295	20.3
10月号	26	8	4	38	17	110	12	13	152	190	20.0
1月号	42	5	12	59	59	188	71	45	363	422	14.0
計	168	28	34	230	160	588	107	124	979	1,209	19.0

(4) 口座振替件数の推移

会費の入金経路の利用は、コンビニ、郵便局の順でありコンビニ利用率がさらに高くなりました。毎号の会報では、事務局から「会費の自動払込(口振)」利用のご紹介をしています。

<年会費入金経路> 令和5年3月31日現在

(単位：件、%)

請求月	払込件数	(内訳) コンビニ	(内訳) 郵便局	(内訳) 口振	(内訳) 銀行等	コンビニ 率	郵便局 率	口振 率	銀行 率
3.4	15,946	9,910	4,863	803	370	62.1	30.5	5.0	2.4
3.7	12,647	8,012	3,590	746	299	63.4	28.4	5.9	2.3
3.10	11,492	7,347	3,185	691	269	63.9	27.7	6.0	2.4
4.1	11,804	7,373	3,363	721	347	62.5	28.5	6.1	2.9
計	51,889	32,642	15,001	2,961	1,285	62.9	28.9	5.7	2.5

3年度実績 56,211 32,042 20,786 2,769 614 57.0 37.0 4.9 1.1

(5) WEB 入会システムからの入会者拡充

平成29年から開始したWEB入会登録数が年度末で1,419名となりました。徐々に若年層入会の効果がでています。

<WEB 入会システム入会者数>

(単位：名、%)

年代	年度別入会者数						入会者数累計			
	29年	30年	31・1年	2年	3年	4年	正会員	終身会員	計	構成比
10代		1					1	0	1	0.1
20代	1	5	5	7	6	7	28	3	31	2.2
30代		10	13	10	7	15	54	1	55	3.9
40代	3	51	35	44	26	49	199	9	208	14.7
50代	4	82	66	87	45	83	353	14	367	25.9
60代	9	67	68	87	52	97	365	15	380	26.8
70代	2	47	55	64	48	70	277	9	286	20.2
80代		6	10	22	18	25	78	3	81	5.7
90代			1	2	2	5	10	0	10	0.5
総数	19	269	253	323	204	351	1,365	54	1,419	100.0

(6) 新会員管理システムの改修

新会員管理システムは、令和4年11月リビング・ウイルの改訂および会員証の刷新を行いました。システム改修は以下のとおりです。

- ① 改訂されるリビング・ウイラー人生の最終段階における事前指示書ー、私の希望表明書に合わせてシステムを改修する。
- ② 紙ベース会員からマイページ会員への移行により、各種諸届依頼をパソコンやスマホから申請できるようにする。



- ③ EXCEL で管理中の受容協力医師データを、会員管理システムの1機能として取り込む。
- ④ 会員証のQRコードをスマホで読み込ませることで、リビング・ウイルを表示する。

### 3. 調査研究及び提言事業

国内外の終末期における医療のあり方・選択、リビング・ウイル等に関する調査、研究及びこれらの情報・研究に基づいて社会への提言を行う事業

#### (1) 日本リビングウイル研究会

- ① 終末期のあり方に関して、医師、患者、関係者及び聴講者等の生の声に基づく情報収集や調査及び研究活動の場として、本部と4支部で「日本リビングウイル研究会」を開催しました。

部署	日程	内容
本部	令和4年 11月19日 (土)	<p>第11回日本リビングウイル研究会</p> <p>テーマ：新しいリビング・ウイル - 自分らしい最期と看取り</p> <p>開催方式：ハイブリッド(会場+ウェビナー)</p> <p>■コーディネーター：満岡 聰理事</p> <p>■講師（発言順）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩尾總一郎代表理事（開会のあいさつとテーマの説明）</li> <li>・満岡 聰理事（新しいリビング・ウイルの誕生と経緯）</li> <li>・長尾和宏副理事長（日本の看取りの現状）</li> <li>・近藤和子理事（小さな灯台プロジェクトについて）</li> <li>・川名理恵子理事（自治体だからできること～横須賀市の事例から～）</li> <li>・北村義浩専務理事（カナダの安楽死の現状と将来）</li> <li>・友納理緒理事（参議院として国政の場から）</li> </ul>

支部	日程	内容
東北	令和5年 2月26日(日) 13:30～16:00	<p>第8回東北リビングウイル研究会</p> <p>参加者：203名</p> <p>テーマ：おかえりわが家。老いには、地域全体を病院に</p> <p>会場：仙台市福祉プラザふれあいホール</p> <p>第1部 基調講演</p> <p>演題 老いの幸福論－幸せな高齢者になるために－</p>

		<p>講師 大藏 暢氏(医療法人社団やまと やまと在宅診療所 大崎 院長)</p> <p>第2部 パネルディスカッション</p> <p>地方こそ、「在宅医療」の“プラチナタウン”に!</p> <p>コーディネーター 伊藤道哉氏(東北医科薬科大学医学部 臨床教授・支部理事)</p> <p>パネリスト</p> <p>星野智祥氏(やまと在宅診療所あゆみ仙台 院長)</p> <p>佐々木由美氏(やまと在宅診療所名取 看護師)</p> <p>佐藤 卓氏(やまと在宅診療所あゆみ仙台 社会福祉士)</p> <p>相澤ひろみ氏(仙台市太白区在住 患者の家族)</p> <p>コメンテーター</p> <p>大藏 暢氏</p>
--	--	--

支部	日程	内容
東海北陸	令和4年 9月11日(日) 13:30~16:00	<p>令4年度日本リビングウイル研究会東海北陸地方会</p> <p>参加者 : 42名</p> <p>テーマ 患者が主となる意思決定</p> <p>挨拶 野嶋庸平支部長、森 亮太氏(愛知県医師会理事)</p> <p>会場 愛知県医師会館9階大講堂</p> <p>第1部 基調講演</p> <p>演題 お任せしない生き方</p> <p>講師 田所園子医師(かわな病院内科、緩和ケア、麻酔科勤務)</p> <p>第2部 意見交換会</p> <p>パネリスト</p> <p>田所園子氏、野嶋支部長、八谷支部理事、榊原支部理事</p> <p>共催 愛知県医師会、名古屋市医師会</p> <p>後援 中日新聞社</p>

支部	日程	内容
四国	令和5年 2月12日(土) 14:00~16:00	<p>令和4年度四国リビングウイル研究会 in 高知</p> <p>参加者 49名</p> <p>テーマ 自分らしく生きる ～人生会議をしてみませんか</p>

		<p>～高知県の取り組み</p> <p>開催方式： ハイブリッド</p> <p>第1部 講演</p> <p>①演題 高知県の在宅医療の現状と課題、ACP(人生会議)に関する昨年度の取り組みと今年度の予定</p> <p>①講師 都築一元氏(高知県在宅療養推進課課長)</p> <p>②演題 ACP の基本的な考え方や話し合う内容について</p> <p>②講師 森下幸子氏(高知県立大学看護学部准教授)</p> <p>③演題 勤務先で関った看取りの事例を通し、施設での望まない延命措置を望まない延命措置を避ける体制づくりや心構えの紹介</p> <p>③講師 松木裕子氏(特別養護老人ホームあぎみの里看護師)</p> <p>④演題 高知県医師会の ACP への取り組みとかかりつけ医の役割</p> <p>④講師 廣瀬大祐氏(高知県医師会副会長)</p> <p>第2部 質疑応答・総合討論</p>
--	--	--

支部	日程	内容
九州	令和5年 3月11日(土) 13:00～17:00	<p>第8回リビングウイル研究会九州地方会</p> <p>参加者 207名</p> <p>会場： 宮崎県 JA アズム大ホール</p> <p>第1部 講演</p> <p>①演題 自分の最期について考えたことがありますか？</p> <p>①講師 長尾和宏氏(副理事長、長尾クリニック名誉院長)</p> <p>②演題 「最期まで」から「尊厳ある生」を目指して －新しいリビングウイルから始める ACP－</p> <p>②講師 満岡 聡氏(満岡内科クリニック理事長、協会理事)</p> <p>③演題 あなたの「想い」を誰かに伝えておくことの大切さ</p> <p>③講師 板井孝老氏(宮崎大学医学部教授 生命・医療倫理学)</p> <p>第2部 パネルディスカッション</p> <p>コーディネーター 榎本雄介氏(医療法人あつきこころ理事長)</p> <p>パネリスト 板井孝老氏、長尾副理事長、満岡 聡氏</p>

(2) 人生の最終段階における臨床経過並びに死の兆候に関する研究

協会と東京大学医学部老年病科との共同研究として「人生の最終段階における臨床経過並びに死の徴候に関する研究」は、令和4(2022)年度も前年度と同様に全国のリビング・ウィル受容協力医師を対象にアンケートを実施し、累計で440名の回答を得ました。アンケート内容の解析中であり、令和5(2023)年度中に臨終の徴候や臨床経過の体系化に関する報告、英文論文化を行う予定です。

(3) 尊厳死についての発言－国会議事録から

1976年の協会創立時方針の一つに、尊厳死の法制化があります。創立から、協会活動を振り返り、過去の国会議事録から、尊厳死についての議論が衆参両院でいかになされてきたかを掲載していますが、今年度は2000年代を追加公開しました。

1. 2013年 第183回国会
2. 2013年 第185回国会
3. 2014年 第186回国会
4. 2015年 第189回国会
5. 2020年 第203回国会
6. 2022年 第208回国会

(4) 死の権利協会世界連合等

- ① 死の権利協会世界連合（The World Federation of Right to Die Societies）世界大会は、2022年11月4日～6日にカナダトロント市で開催され、協会からは野元副理事長、北村専務理事及び宮本北海道支部長が出席しました。宮本礼子北海道支部長が、テーマは「日本の認知症終末期医療の問題点」で講演を行い、その講演内容や大会で使用された資料は、ホームページにて公開しています。
- ② 同総会では、世界連合理事の野元副理事長が任期満了で退任し、新たに北村専務理事が選挙により世界連合理事として選ばれました。
- ③ 同時に、「死の権利協会世界連合」の理事会において、4年後の2026年に日本での大会開催の要請がありました。2023年3月の協会理事会において、2026年は協会創立50周年の節目でもあること、欧米諸国とアジアでは、安楽死に対する考え方が全く違うことを共有すること、日本ではなぜ安楽死が認められないのか、台湾や韓国の代表により自国の安楽死の考え方や法制度について報告してもらう等を目的に、日本大会開催の準備委員会設立が承認されました。
- ④ 海外の終末期の医療事情として、韓国では、医師幫助自殺を認める法案提出で安楽死に関する議論が再燃していること、中国南部の都市深圳で2023年1月1日に施行される「改正医療規則」は、末期患者が「過度の救命治療」を拒否し、尊厳と安らぎをもって死ぬことを認める法律ができたこと。深圳市は中国で終末期法制化を決めた初の管轄区となったこと

を紹介しました。

(5) ご遺族アンケート集計結果

令和4(2022)年(令和4年1月～同年12月)の「ご遺族アンケート」が纏まり、会報No189号(令和5年4月)に掲載します。亡くなられた会員のご遺族659名からアンケートへのご協力があり、協会リビング・ウイルが役立ったか否かについては95%のご遺族がリビング・ウイルの効果を認めています。

<LWは受け入れられましたか> 557人からの回答

順位	相談項目	割合(%)
1	十分受け入れられたと思う	72
2	どちらかといえば受け入れられたと思う	23
3	分からない	4
4	どちらかといえば受け入れられなかった	1
5	全く受け入れられなかった	0
	計	100

<LWの意味>(複数回答)

内容	人数(人)
本人の意思の実現	401
家族の迷いを払拭	367
医師とのコミュニケーション	218
本人の安心	199
その他	45

<提示先は>(複数回答)

内容	人数(人)
病院担当医	347
施設の職員	166
看護師	151
在宅訪問医	115
施設医	115
かかりつけ医	90
救急隊員	30
その他	10

<提示時期は>(複数回答)

内容	人数(人)
入院／入所	339
普段から	165
体調悪化	109
終末期	93
植物状態	3

<提示方法は>(複数回答)

内容	人数(人)
口頭	321
カード	221
宣言書	116

#### (6) 提言活動

- ① 会報 No185 号(2022 年 4 月号)で、本部が令和 3 (2021)年 12 月 11 日に開催した第 10 回 日本リビングウイル研究会での「予期しないことが連続して起こるコロナ禍では、思い通りの最期を迎えることが難しくなっており、リビング・ウイルを書いておくことの重要さを提言しました。
- ② 同号では、「尊厳死法制化の展望」をテーマとして、岩尾理事長と友納理事(弁護士)との特別対談を企画し、リビングウイルや ACP などにより患者の意思確認が適切になされること、その意思が最大限尊重されるような仕組みをつくることが必要と提言しました。
- ③ 令和 5(2023)年 2 月 15 日に、「終末期における本人意思尊重を考える議員連盟」の自民党役員に対して、「尊厳死法制化」の議論を早急に進めるよう要請しました。要請内容は、
  - ・国会議員に対して終末期議連入会案内の配布、同議連総会の開催、同役員人事、勉強会の活動再開
  - ・法制化に向け、大分県や大阪府などの地方議会では「人生会議」の普及啓発を推進する条例化の動きもある。2012 年の尊厳死法制化第 2 案は法学者から不評であり、新たな視点からの議論が必要
  - ・韓国や台湾は、日本に先んじて法律が制定されており、立法過程について現地視察の検討

#### 4. 管理部門

- (1) 令和 4(2022)年 6 月 11 日開催の第 14 回定時評議員会において、定款第 3 条(目的)、第 4 条(事業)の改定が承認されました。(改定は、太字部分)

第3条 (目的) この法人は、人生の最終段階において、自己決定権に基づいた医療選択の権利の保障され、尊厳が損なわれることなく生を全うする社会の実現をめざすことを目的とする。

第4条 (事業) この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) リビング・ウィルの普及啓発事業
- (2) リビング・ウィルの登録管理事業
- (3) 尊厳死の調査研究及び提言事業
- (4) その他この法人の目的達成に必要な諸事業

2 前項の事業については、日本全国において行うものとする。

(2) 「ウィズコロナ」時代の法人組織の見直し

令和2年11月28日の理事会で「ウィズコロナ時代の法人組織の見直し」の決議による支部の固定費の見直しの進捗は、以下のとおりです。

- ① 関西支部は、支部事務所が令和5(2023)年6月末で閉鎖します。同時に職員が退職になります。
- ② 東海北陸支部は、法律事務所との事務業務委託金額が令和5年4月から減額となります。

(3) 収支決算

- ① 令和4年度は、経常収益は13,509万円、経常費用は18,948万円で、当期経常増減額は5,439万円で2年連続の黒字のあと大幅赤字となりました。指定正味財産増減額を加えた正味財産期末残高は、58,900万円となりました。
- ② 会員数の増強のみならず、公益法人としての新たな収入源の確保など、引き続き検討を重ねていく必要があります。

<年度別収支>

(単位：円)

項目	31年度	2年度	3年度	4年度	対前年
経常収益計	158,568,728	162,067,292	166,642,815	135,093,638	▲31,549,177
経常費用計	158,700,423	148,366,965	153,644,260	189,483,939	35,839,679
当期経常増減額	▲131,695	13,700,327	12,998,555	▲54,390,301	▲701,772
一般正味期末残高	613,849,225	627,549,552	640,548,107	586,157,806	▲67,388,856
指定正味期末残高	2,846,116	2,846,144	2,846,172	2,846,200	28
正味財産期末残高	616,695,341	630,395,696	643,394,279	589,004,006	▲54,390,273

## &lt;経常収益の源泉&gt;

(単位：円)

項目	31年度	比重	2年度	比重	3年度	比重	4年度	比重
受取会費	147,570,000	93.1	140,785,200	86.9	132,964,800	79.8	122,714,500	90.8
受取補助金等	-	-	-	-	5,303,246	3.2	-	-
受取寄付金	7,215,842	4.6	15,518,651	9.6	27,350,629	16.4	11,009,491	8.2
販売事業収益	2,681,347	1.7	1,555,098	0.9	656,610	0.4	1,157,454	0.9
講演料収益	314,530	0.2	30,000	-	91,000	-	151,000	0.1
その他	787,009	0.4	4,178,343	2.6	276,530	0.2	61,193	-
経常収益計	158,568,728	100.0	162,067,292	100.0	166,642,815	100.0	135,093,638	100.0

## &lt;受取会費の年度別&gt;

(単位：円)

項目	31年度	2年度	3年度	4年度	対前年
正会員	82,542,000	82,595,200	81,414,800	77,500,500	▲3,914,300
夫婦会員	38,714,000	36,374,000	32,847,000	29,432,000	▲3,415,000
終身会員	9,208,000	7,034,000	6,178,000	5,626,000	▲552,000
減額会員	17,106,000	14,782,000	12,525,000	10,156,000	▲2,369,000
合計	147,570,000	140,785,200	132,964,800	122,714,500	▲10,250,300

## &lt;令和4年度受取会費の前受金処理&gt;

(単位：円)

項目	前受金 計上前	前受金	差引後	30~3年度か らの実現	4年度 実績
正会員	77,070,500	▲5,058,000	72,012,500	5,488,000	77,500,500
夫婦会員	29,405,000	▲48,000	29,360,000	72,000	29,432,000
終身会員	5,626,000	0	5,626,000	0	5,626,000
減額会員	10,119,000	▲78,000	10,041,000	115,000	10,156,000
合計	122,223,500	▲5,184,000	117,039,500	5,675,000	122,714,500

## &lt;前受金累計残&gt;

(単位：円)

項目	30年度残	31年度残	2年度残	3年度残	4年度残	前受金計
正会員	5,100,000	6,658,000	4,024,000	4,632,000	5,058,000	19,984,000
夫婦会員	24,000	15,000	39,000	78,000	48,000	132,000
終身会員	0	0	0	0	0	0
減額会員	58,000	89,000	157,000	154,000	78,000	421,000
合計	5,182,000	6,762,000	4,220,000	4,864,000	5,184,000	20,537,000



### (5) 個人情報の法令順守

本部や支部は、資料請求者や会員情報等の情報は、個人情報管理規程を遵守し、適切に取扱っています。

## III. 評議員会・理事会

令和4年度開催は、次のとおりです。決議事項は全議案承認されました。

### ▽評議員会

開催日	会議名	議題
令和4年6月 11日(土)	第14回定時評議員 会 (zoom)	<決議事項> ・定款第3条(目的)、第4条(事業)の改定について ・令和3年度事業報告、収支決算報告について <報告事項> ・令和4年度事業計画、収支予算及び資金運用計画 の件

### ▽理事会

開催日	会議名	議題
令和4年5月 21日(土)	第36回定時理事会 (zoom)	<決議事項> ・令和3年(2020)度事業報告、収支決算報告の件 ・令和3年度監査報告及び令和4年度監査計画の件 ・会員管理システムの今年度開発費用が増額となる 件 ・第14回定時評議員会を招集する件 <報告事項> (理事による職務執行報告) ・4部会の進捗報告 ・協会受容協力医師へアンケートを実施する件 ・【第2弾】TBS ラジオ「アシタノカレッジ」にて取 録放送報告 ・死の権利世界連合の活動報告 ・会報に掲載する医師紹介、取材に同行した件 (事務局による報告) ・令和3年度LW 電話医療相談報告
令和4年11 月19日(土)	第37回定時理事会 (東京大学内伊藤謝	<決議事項> ・関西支部の間接業務を本部へ集約する件

	恩ホールギャラリー 1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規程改定の件</li> <li>定款改定に連動する規程改定</li> <li>個人情報管理規程、個人情報保護に関する基本方針改定</li> <li>外部への講師謝金及び原稿料謝金等に関する規則制定</li> <li>&lt;報告事項&gt;</li> <li>(理事による職務報告)</li> <li>・人生の最終段階における臨床経過および死の徴候に関する検討の進捗</li> <li>・終末期医療に関する意思表示支援=小さな灯台プロジェクト進捗報告</li> <li>・TBS ラジオ「My LIFE! My CHOICE !!」収録・放送報告</li> <li>・世界連合大会（カナダ トロント）出張報告</li> <li>(事務局による職務報告)</li> <li>・令和4年度中間収支報告</li> <li>・リビング・ウイル改訂に伴う作業報告</li> <li>・令和4年度上期リビング・ウイル電話医療相談報告</li> <li>・令和5年度の役員等改選にあたり(事前案内)</li> <li>・SNSによる広報強化のお願い他</li> </ul>
令和5年3月 4日(土)	第38回定時理事会 (zoom)	<決議事項> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度事業計画、収支予算案及び資金運用計画方針の件</li> <li>・2026年度に日本で「死の権利協会世界連合」総会準備を開始する件</li> </ul> <報告事項> <ul style="list-style-type: none"> <li>(理事による職務執行報告)</li> <li>・TBS ラジオ「My LIFE! My CHOICE !!」放送報告</li> <li>・「終末期における本人意思尊重を考える議員連盟」自民党役員に対して活動を要請した件</li> <li>(事務局からの報告)</li> <li>・令和4年度最終予測収支報告の件</li> </ul>

以上